

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道福祉教育専門学校
設置者名	学校法人北斗文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	自立支援介護福祉学科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	こども未来学科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「令和7年度シラバス 巻末 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表」 E-mail : infol@hokuto-bunka.ac.jp への請求により郵送する

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道福祉教育専門学校
設置者名	学校法人北斗文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

「学校法人北斗文化学園 役員名簿」 E-mail : info1@hokuto-bunka.ac.jp への請求により郵送する
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 CEO	2023.6.27 ～ 2027.6.26	専門的知見よりア ドバイスを受ける
非常勤	歯科医院副院長	2023.6.27 ～ 2027.6.26	専門的知見よりア ドバイスを受ける
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道福祉教育専門学校
設置者名	学校法人北斗文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年度、教育課程編成委員会を開催し、教育課程の編成について協議した基準に基づき、科目ごとにシラバスを作成し、年度初め(概ね4月頃)に学生へ公表している。	
授業計画書の公表方法	「令和7年度シラバス」 E-mail : info1@hokuto-bunka.ac.jp への請求により郵送する
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則第21条に「学習の評価及び単位の認定」を規定し、学科試験、実習成績、出席時数並びに平素の学習状況等によって、学習の評価を行うことを明示し、実施している。また、別途、「履修・評価・進級及び卒業の認定に関する規定」を定めている。学生に対しては、学生要覧やシラバス上で示し、確認している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全ての科目において、100 点満点で点数化しているため、各学生の全科目の平均点を算出することで客観的に比較可能であり、その区分により分布状況を把握している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	「令和 6 年度客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」 E-mail : info1@hokuto-bunka.ac.jp への請求により郵送する
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定方針は、教育課程編成委員会や教職員会議により策定し、卒業の認定に関する規定として、学生要覧等により公表している。具体的な要件は以下のとおりである。次の各号のいずれかに該当する者は、卒業させないものとする。(1)学科目の評価に不可がある者。(2)試験において不正行為があり、科目の成績評価が行われなかった者。(3)正当な理由がなく試験を受けなかった者。(4)当該年度の欠席日数(遅刻回数 5 回で欠席 1 日とする。早退も同様とする。)が出席すべき日数の 3 分の 1 以内であっても、学科目に係わる出席時間数が学則に定める時間に満たない者。(5)次の卒業試験を実施し各学科において指定する試験科目の得点が 6 割未満の者。イ. 職業実践専門課程自立支援介護福祉学科の卒業試験は、社団法人日本介護福祉士養成施設協会卒業時共通試験とする。(6)卒業判定会議の 14 日前までに授業料等の納付金の未納な者。 毎年卒業認定については、卒業判定会議を実施し、卒業認定を行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	「令和 7 年度学生要覧」 E-mail : info1@hokuto-bunka.ac.jp への請求により郵送する

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道福祉教育専門学校
設置者名	学校法人北斗文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	E-mail : info1@hokuto-bunka.ac.jp への請求により郵送する
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	自立支援介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2 年		2415 単位時間/110 単位	1065 単位 時間	810 単位 時間	540 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2415 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		71 人	63 人	5 人	18 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 毎年、教育課程編成委員会を開催し、教育課程の編成について協議した基準に基づき、科目ごとにシラバスを作成し、学生に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「学習の評価及び単位の認定」を規定し、学科試験、実習成績、出席時数並びに平素の学習状況等によって、学習の評価を行うことを明示し、実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 「進級及び卒業の認定」を定め、基準を公表し、「進級及び卒業判定会議」により、認定を行っている。
学修支援等
（概要） クラス担任制であり、定期的に学生との個人面談を実施。個々の状況（出席・学業成績等）に応じた指導を職員間で共有して行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 特別養護老人ホーム、病院、デイサービス、介護老人保健施設			
（就職指導内容） 個人面談等により希望と適性を把握。応募書類の作成と採用試験準備のサポート。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家試験受験資格、社会福祉主事任用資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73 人	2 人	2.7%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人および保護者との面談を複数回にわたって実施、必要に応じて専門家との面談を設定する。		

①学科等の情報 2

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
教育・福祉		専門課程	こども未来学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼間		540 単位時間	1260 単位時間	450 単位時間		45 単位時間
2年		2295 単位時間／91 単位	2295 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		39人	11人	6人	19人	25人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 毎年、教育課程編成委員会を開催し、教育課程の編成について協議した基準に基づき、科目ごとにシラバスを作成し、学生に公表している。							

成績評価の基準・方法
(概要) 「学習の評価及び単位の認定」を規定し、学科試験、実習成績、出席時数並びに平素の学習状況等によって、学習の評価を行うことを明示し、実施している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 「進級及び卒業の認定」を定め、基準を公表し、「進級及び卒業判定会議」により、認定を行っている。
学修支援等
(概要) クラス担任制であり、定期的に学生との個人面談を実施。個々の状況（出席・学業成績等）に応じた指導を職員間で共有して行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	26人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育所、幼稚園、認定こども園、事業所内保育所、障害児支援施設、一般企業等			
(就職指導内容) 個人面談等により希望と適性を把握。応募書類の作成と採用試験準備のサポート。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士、幼稚園教諭2種免許状、社会福祉主事任用資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人および保護者との面談を複数回にわたって実施、必要に応じて専門家との面談を設定する。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自立支援介護福祉学科	200,000 円	600,000 円	515,000 円	実習費、教育機材維持費、教科書代・学生諸費等
こども未来学科	200,000 円	650,000 円	456,000 円	実習費、教育機材維持費、教科書代・学生諸費等
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「北海道福祉教育専門学校自己評価結果」 E-mail : info1@hokuto-bunka.ac.jp への請求により郵送する		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
教育理念と目的の明確化について、育成させて頂くべき人材像の確立、学校の特色の明示について、教育目標の設定と達成、授業の評価と改善、カリキュラムの策定、就職率の向上、学生指導と退学率の低減策、教員の確保とスキルの向上、教育の国際化および法令等の遵守などについて、学校関係者評価を実施・公表することで、適切に説明責任を果たすとともに、保護者や地域住民等の理解を得ながら、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることを目指す。 学校関係者評価委員の定数は5名であり、学校長および下記のとおりである。 関係者評価の結果をもとに、学校長を責任者として、逐次改善を図るとともに、自己評価結果と関連付けてPDCAサイクルに活かすよう努めている。特に、さらなる教育の国際化を推進していくことを目指した、学生指導・募集活動のあり方を見直している。また、自立支援介護福祉学科について国家試験受験が義務付けられていることから、就職率よりも合格率が重視される時代になっているとの委員の意見を踏まえ、国家試験対策の充実を図っている。一方、こども未来学科においては、就職後の早期退職が業界の課題の一つであるとの委員の意見を踏まえ、責任感・社会性を養う指導を心がけるとともに、複数の教職員による就職支援を行うなど、ミスマッチの防止に努めている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ノースヘルスケアサポート	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員
室蘭市元職員	令和6年4月1日～令和8年3月31日	講師
主婦	令和6年4月1日～令和8年3月31日	PTA
介護福祉士	令和6年4月1日～令和8年3月31日	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「令和 6 年度北海道福祉教育専門学校『学校関係者評価』の結果について」 E-mail : info1@hokuto-bunka.ac.jp への請求により郵送する
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hokuto-bunka.ac.jp/sweh/
--